

原料費調整制度に基づく2025年5月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2025年5月検針分の単位料金を調整した結果、2025年4月検針分と比べ、1m³(45MJ)につき4.64円(消費税込)上方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2025年4月検針分と比較して、139円(消費税込)ガス料金が上がります。

2025年5月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³)	180.50	165.65	163.45	160.15	151.35	143.65
(参考) 4月 調整単位料金	175.86	161.01	158.81	155.51	146.71	139.01

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2025年 4月 ^{*1}	2025年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,886	6,025	139

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

^{*1} 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、5円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2024年11月～2025年1月 の平均 (4月 検針分)	2024年12月～2025年2月 の平均 (5月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	97,230	96,800	▲ 430
LNG	97,030	96,530	▲ 500
LPG	96,240	97,080	840
基準平均原料価格(b)	57,250		

差額(a-b)	39,900	39,500	▲ 400
---------	--------	--------	-------

- ・ LNG価格、LPG価格とともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)

96,530 × 0.9479

+ LPG平均原料価格(貿易統計値)

97,080 × 0.0546

96,801.35

↓ (10円未満四捨五入)

96,800 円/t

■ 原料価格変動額の算定

96,800 円/t

—

57,250 円/t

=

39,550 円/t

↓ (100円未満切捨て)

39,500 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

単位料金調整額

=

39,500 円

/100円×0.0891^{*2}

=

35.19 円^{*3}

^{*2} 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

^{*3} 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

本体料金(税込)

=

基本料金(1,056.00円)

+

調整単位料金(130.46円

基準単位料金(税込) ↑

+ 35.19 円) × 30m³

↑ 単位料金調整額(税込)

=

6,025 円

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。